



## ダンゴムシの足の数は、何本あるの

### エビやカニに近い

ダンゴムシは、何の仲間だと思えますか。こん虫の仲間ではありません。甲殻類とよばれる、エビやカニの仲間なのです。よろいのようにかたい、こうらで体がおおわれているとか、足の数が多いなど、エビなどと似たところがあります。

ダンゴムシの体は、こん虫のように、頭、胸、腹の区別がはっきりしません。体全体は、たくさんの節に分かれています。このたくさんの節を、頭、胸、腹、おと分けると、下の図のようになります。この節が、一つずつはなれているので、ダンゴムシは、体をまん丸に丸めることができるのです。

### 歩くための足は、14本ある

下の図の、胸の部分に、七対の足がついています。左右あわせて、14本です。

ダンゴムシを、あつ紙にのせ、紙の向きをかたむけても、すべり落ちもしないで、かたむきのうえの方へ、よじ登っていきます。ガラス板の上ののせて、板をかたむけると、ダンゴムシは、すべて上の方へ進めません。

ダンゴムシの足を、顕微鏡で調べてみると、足の先がすどくとがっていたり、先が二つに分かれて、つめがついた足もあつたりします。このつめで、紙の表面をよじ登れたのです。ガラスの表面では、つめもひっかからなかったのでしょうか。（監修・中山 周平）

ダンゴムシの体の区分け

